Centimetres
KODAK Color Control Patches
© The Tiffen Company, 2000
Kodak
LICENSED PRODUCT
Blue
Cyan
Green
Yellow
Red
Magenta
White
3/Color
Black

國會圖書館藏

世尊寺流書巻第三

二代 参議行經卿書

上毛 町田清興密定

やよひのころこのゆふべ
あまのゆくえもしらぬ
つきのはるかぜ
ひさかたのくもゐにてこのあまの
いくしほ
れぬらむ
はるのひの
あたるところよりはな
ちりぬらむいとみらむ
ぬしけりせきれ
花ちるはせるはら
うちかはりてふきはらひ
ぬるかな
ふきはらはるものさらに
うつりやすらむ
花ぞうつろふ

鶯のなくしらしくもかなしのはなの左
今後拝こそなほはなのいとさかずか
みしらん あかなもとからかしきり
めいこそ人ふのよいろあなもし
左右に付ておもふ うつ多まつは
よのつねのことをわれて さいなみむ
きこのらつまなむ ことはせいふれる
みはさまよくし うかむそふるは
ことはあらはれ申 みなのこそへに
はなてらもとし ひとのさしかを
そのかれのたし ゆりしのさみ
ふかまかしへ天色 あまりしきこと
のおけくをもあらむは めつらしき
とてうみつこそへより つみ
花月 峰こし左をこしあまつゆ

とられど　ただめでたうあはれなり
よいされば　つかまつる人するなり
女房廿人を十人てさぶらはせし
まくひさをつゝよよろめきほどより
うつくしうみのはつまなるなめれば
あふぎはさはひまのなくて見え
ひさしいより御まへまで人をまうして
廿日まちのたいまつかぜさうよ
寝殿のひむがしおもてのまやひさしを
このむまもちのおはしましたり
源大納言殿　小野宮の中納言　藤原
新中納言　中宮権大夫　右大弁　左大弁
三位侍従　殿上人は　とうのたの
さるめしはるひとかれたるめとこそあめ
右のやうの中将　つねいえ人おは

つれてまゐりまうて　みそめのうちには
きさいの御かたの御かた　左はしこの
かね　右わらはね　たいのめ
またはこゑこゑはすてゝこゑのうへ花
うたねのこのみこし
あひあひてまし　いろいろのきぬきぬをこと
まつらひてくるみしか　左かち
ち結ありしはうるためのおほきつ
一品いれたり　つかうまつらせかはり
まへ　うちしきなかしこのこゑそ持
まちの花をぬひたり　おほみこしよ
のみはまかのけしきのいろをついたち
はやおまつかなうせけるを結
このはなあかりかうかまたあ
うちしきかはりけしらのふなんしるまま

右かゝみのうちなる物あみさうゑ
て　ふまのつゝかゝるねの風をけ
ま　この物のちよくをうちそゝまに
さて　兵ちくをうちそゝ帳あらしをく
ふるのはらし一ぢに乱れ　つゝ所
まゝよりうちはふる
なのさうにしうをぬひまは
うちはけしうのはのふるまはる
あまりてちをつゝ形ちをい
ふこゝろ乱り　この所ゝ
つゝひもゝまなり　うちをふの
みちりのはらうをぬひ帯のり
ひもやりぐゝ乱ぬ物は乱た
ゝあわよしまゝ　おなをゝは
こゝまをゝまゝ　物乱をうゝ

とこゝろをみしたまひてかたうてしのひかた
けせしきはまた たくゆすり人 羅漢
大兵庫は このかたのはらしも天よみ
おほきおほとの ひおもののたまふ
顕紀人又さい人えてまいりあひ
わうたくうわしかれて 一三
番ゝの花もちめのおほむ 題の
けふあそひにわ来はわかれ 澄上人
いとみとをけふあそてあひなるを
のちまはそいみおろくとまかれと
かれしのは けふこの道をさく
わはりへたちにはみけあのちまと
のはまなれるもし ましれ
まうれなまみよまふ なかいこのち
あけおうむよりはみられぬのしるし

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

十九

みやこはるかのうらみたのはたら
うめの花さかるまのはぬ
しらうたはねを

廿

うの花のはるをしらぬ
ほとゝぎす
ちるまのうめのはなのみ
ちをたどりて

つき

廿一

やどりせしうのはらぬ
ものをおもふまのはの
つゆを見るにつゝみ
ものをおもふまのはの

う胡わ胡ひほめまのふ

石

やまのたのいのらまーのはいかんつ

いれんつまはのそれさうなれ

ひこ、ならまれつんも胡らほ東

まあ　とうの毎みまはうのれ胡

とあり胡るまいきこはこのこ

わひのようつやまあまたれ久

よりふわよはうむみつ水ひこま

あるうくさていり胡ちをけめ

ものれ　うわ沖あまりこひふ胡て

おはれこうれ胡ほ　そてふうを

よまの付　人紙ひとのふもふと

胡こうまと胡ほ

はつまりこもれひふりうまし

たつのほとよ　ひすてものの
ねまりかな　こそなのはなみ
ゆるはひくてうすあつまなる
めとまわたつわ　この
うつるとはつうはらしかわの
ゆくまるも　とまるとまた
のゝとのあくを　あるきとふるに
はしよつむはるの　みゆるま
あと学ねより　ほまつとまて
あるとて　なむ

雜

風

春風晴蘭庭前樹夜雨偏雲石上苔　傳法

入松島孔雀明君之視流水不歸意美列

子子孫　風中琴歌

淫日手中吹不盡徐君墓上扇猶懸　北風初如劍月落
現姑蘇扇庭淫尚列子懸車不住還　清風何處隱
餘響

あるものは極く高く高くなりて去るものの如
物すごく枯れ枯れとなりて　中夢
ほのかにあかるくなる月ありつくるものの道
物すごくかろくやよりかろくなりの風

雲

竹翅湘浦雲數數翠ゝ鸞鳳玄泰華月光吹
簫ゝ　秦戒

山遠雲埋竹宮近松雲風夜搖人夢
淫暗沓泰ゝ朝雲磯弼峯ゝ月陶朱鮮哉
ゝ雲照淫ゝ湖ゝ煙　視雲如隱賦

雲万重雲心不繫出岫時見月夜方閑　幽栖　元
淫雲龍顏遠雲只淮南鷄翅去公道連　秋天要雲　元
淫雲偷些些收藏石室　倫愛吸岩松　雲多奇峯
雲雲多奇峯

晴

煙霞の外青山色重なり前後行伯

嶺々峯々巖頭に収七百里の外曠然たる象

沙月波四十尺の鯉（前状参多）

雲濤碧落を廣漠の風動海鷗の水面鼓

霜鶴出皇扶菊舞弧帆（高太公遠望）水を望清

四山高鶴舞日高光欲溜龍鱗雲欲殘（明後山清）

晩

佳人亟湯於晨粧魏宮種動拙之形於殘

月函谷鷄鳴

幾行南去々唐一行西顧々月孤征鉛粉

々々振花形向迎胡城百戰々帥胡塵東歌

浮樓亟屈々中青城亟畫亟寒瓊逆々上

仗燭宮漆（八上時成）

五鼓宮漏初明後　一點窓燈欲滅時　白

あかつきのなからましかはしらつゆの
おきてわひしきわかれせましや

松

但有雙松當砌下　更無一事到心中　白

青山有雪諳松性　碧落無雲稱鶴心　仲侔

琴商彼曲吹煙後　樂雨翠催人學雨處　松風高秋歌　賛也

千丈凌雲直聳之姿　百歩亂風雖
破岩而之材　柳宗元為松賦　紀

九夏三伏之暑月　竹含錯午之風　玄冬
素雪之寒朝　松彰君子之徳　河原院賦　順

十八公榮霜後露　一千年色雪中深　順

含雨嶺松天更黒　秋林樹火還寒　紀

ときはなるまつのみとりもはるくれは
いまひとしほのいろまさりけり　宗于

かれてもひさしかるへきわかまつの
こころよしのよこ

[illegible] 大納言

[illegible] 六

[illegible] 名信

竹

煙葉蒼龍侯、[illegible]蘭風[illegible]秋聲 白

院籍籠幾人[illegible]月[illegible]獄暮[illegible]枕煙 章[illegible]

晉[illegible]蒼軍[illegible]獻[illegible]林[illegible]君虎[illegible]子[illegible]

宮白[illegible]爲[illegible]交 菖蒲

逆[illegible]柚[illegible]風[illegible]檻根後班[illegible]文 禁[illegible]

[illegible]

草

沙頭雨深[illegible]草水面風[illegible]波 白

西施顏[illegible]伊花[illegible]春風百草千[illegible]

瓢箪一斗空草茫々閑々老蓬蒿深

鎖而温頂笑々抱 友鶴

草色雪晴初布濯多辨家暖防綿裳仁

華山る馬蹄狩家傳野老人泳漸滋 遠草紀各 保徐

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

鶴

蝶小人印論克位鶴白京軒愚利口々愛

外家雇能家屋 [illegible]

雨来陵々入明但見美影以歪頂々荘老衆

人皆破 [illegible]

群来杭と手来鶴就茂而平又老翁 白

清夜數聲松山鶴寒光一片竹君秋　白

雙鼎遊蒲苑數聲沈上月明時　斜島

鶴過雲盡丁令歸人識能迎新傷

陶安　神山築　駕左服　部

飢鼯性躁名乳老鶴心柔後人賦　部

叫江　孫弼　夢和風湧入玉弦彈　霜大阪宗鶴　順

[illegible]

[illegible]　仲敬

[illegible]　任作歩而歌　佳石

張

孫鼇　寵因一舞之玄鶴　慶之巴峽　秋深石

秋夕　義　柳川月　賦

[illegible]巴峽　石宋字　張過巫陽　妃沙腸　白

三峽猿啼夜聞猿啼一聲秋夜南客愁思巴猿三叫淚霑
裳 紀昀

人煙一抹秋村暮猿叫三聲峽路長 紀昀

峽猿聲徹猿一叫聲林葉盡落長江空 [illegible]

簫鼓鏡亭山寺晚枕尾鐘聲峽猿長 紀昀

十里[illegible]

[illegible]

[illegible]

一聲風雨夜秋來蕭蕭雲數相霓老峽猿

[illegible]山月連昌城

也一第二弦聲秋風拂松疎節落三聲弦

冷冷夜靜清不絕山月照人秋水流不停 [illegible]

秋來風流不停 [illegible]

隨分數弦還自足少來篇詠彼人生 白

[illegible]

綺羅之為重衣妬無情於機婦管絃之在長

曲怒不闋於伶人 菅

落梅曲旧脣吹雪折柳声新手掬煙 花間陪宴詠法 菅

相如昔挑文君以心使為中子悔 琴

ことのねにみねの松風かよふらし

いつれのをよりしらへそめけむ

文詞 付遺文

沈詞怫悅若游魚銜鉤出重淵之深浮藻連

翩若翰鳥纓繳墜曾雲之峻 文賦

遺文三十軸々々金玉聲龍門原上土埋骨

不埋名 題故元少尹集後

言語巧偸鸚鵡舌文章分得鳳凰毛 元

錦繡腸開雲水為白珠鍊筆收精意

鳴于山中之木才以歸追也白蓬萊之苑

詞藝於人

王朝八代の子孫藤原廣業と竟革江流
一時の文集花別帳の序
陳孔璋河内守為宿弓相の賦兵陵王の歌
贈爵の勅旨銘刻石碑藤原後集を初五
[illegible]
[illegible]

寛政七年乙卯九月上毛持田循
勒成好古堂

三十九終